

橋中知之先生特別講演

メタルセラミックスによる審美修復

—オールセラミックスとの比較を踏まえた適応症と製作のポイント—

オールセラミックス修復におけるフレーム材の強度及び精度・光学性の向上は著しく、それに伴って様々なテクニックが報告されてきました。材料の進化と技術の確立によって天然歯に肉薄する審美的な補綴物の製作が可能になっており、自身の臨床でも特に前歯部補綴ではオールセラミックスクラウンを選択する症例が圧倒的に多くなっているのが現状です。

一方、演題であるメタルセラミックスクラウンは約半世紀もの歴史を有し、フレームの強度及び焼付強度により現在でも安定した臨床結果をもたらしています。反面、メタルを使用するため光学性に劣り、一般的には審美的な欠点の多い材料と考えられ、選択される症例が減少している大きな要因となっているのではないのでしょうか。そこでオールセラミックスとの比較を踏まえ、メタルセラミックスクラウンの特性を活かすことができる症例選択と審美的な問題点の改善策を提示したいと思います。



株式会社
Tottori Dental Technology
橋中知之 先生

鳥取市歯科技工専門学校卒業
大阪セラミックトレーニングセンター
SJCD テクニシャンコース
Baren Oral Design Course 受講
スタディーグループ 青谷会

日時 2016年 9月 24日 (土) 16:30～18:00

コンベックス岡山 小展示場 岡山市北区大内田 675 / TEL(086)292-6111

定員 100名 受講料 ¥1,080 (税込)

持参品 筆記用具

主催



株式会社 リンテージ藤波

本社 〒710-0026
広島営業所 〒730-0047

岡山県倉敷市加須山 881-2
広島県広島市中区平野町 1-15